

平成二十四年度 入学試験 国語

京華女子中学校

次の文章を読んで後の問題に答えなさい。

※答えは解答用紙にはっきりと書きなさい。

若い人たちに、「明日、世界が終わることになったら、池上さんは、何をしたいですか。シヤシ^aに書いてもらえませんか？」と頼まれました。私が「万巻の書を読みたい」と書くと、若い人たちが怪訝^{けげん}そうな顔をして、「あのー、万巻って、どう読むんですか？ どういう意味ですか？」と聞くではありませんか。ありや、りや。私も古老^アの仲間入りかい。

たくさんの本を読みたいというのは、① 時代遅れ^{おくれ}なのかも知れません。でも、人々の読書意欲は、② 旺盛^{おうせい}です。

二〇一〇年夏、サラエボ内戦のその後を取材するために、欧州系^{おうしゅうけい}のエアラインに乗ったときのこと。乗客へのサービスが一段落した客室乗務員が、Kindle^{※注}で読書している姿を目撃しました。

Kindleですと、見た目は情報端末^{たんぽう}ですから、仕事に必要な道具を持っているというイメージがあり、違和感^{いわかん}はありません。でも、もし客室乗務員が、派手な表紙のミステリーのハードカバーでも持ち込んでいたら、客は、「仕事中だろう。本なんか持ってくるな」と突っ込みを入れたくなってしまうのではないのでしょうか。

Kindleでの読書には、① こんな利点^{りてん}もあったのだと合点^{ごうてん}しました。

どんな形をとろうとも、読書は読書。エイゾウや図^えではなく、活字だけを読み進むことで、頭の中に豊穠^{ほうじょう}なイメージを紡ぎ出す。③ 読書の醍醐味^{だいごみ}です。活字からイメージを想像するという作業をすることによって、人は精神的に成長するのだと私は思うのです。

読書という作業をするための道具は変化するかも知れません。KindleもiPad^{※注}も、読書のための道具に過ぎません。読書そのものは永遠に不滅^{ふめつ}なのです。

私は、二〇〇五年にNHKから独立して、海外取材に出ることが多くなりました。根っからの本好きとしては、海外の街でも必ず書店に入って、その店の空気を嗅ぐ^かことにしています。

欧州の古い石畳^{いしだみ}の路地を入ったところにある小さな書店。店の主人には、なにやら過去がありそうな……。こんな小さな書店が、なぜ生きながらえることができるのか。書店が、秘密組織の連絡拠点^{れんらくきょてん}になっているのではないか……。想像の翼^{つばさ}が広がります。街の各所に息づく小さな書店たち。これが、欧州の知性を下支えしているのではないかと思うのです。

では、開発途上国^{ししょう}の書店はどうか。いまから十年ほど前、ベトナム戦争のその後の取材でベトナムを訪れたときのことです。目抜き通りに大型書店があったので、立ち寄りました。そこで、万引きをした若者が店員に捕まる瞬間^{しゅんかん}を目撃しました。若者が万引きしようとしたのは、英語の教材でした。きつと高価なものだったでしょう。でも、漫画^{まんが}や猥褻^{わいせつ}な本を万引きしようとする、どこかの国の若者とは大きな違い。万引きはいけなしいしろ、知識欲の旺盛さには圧倒^{あつぷ}されました。

その印象は、書店を出て街を散策しても変わりませんでした。

〔A〕 そんな確信を持ちました。

〔B〕 店番をする間も、本を手放せない。

〔C〕 この読書欲に満ちあふれた若者たちがいる国は、きっと発展するだろう。

〔D〕 何をしているのかと見ると、みんな読書の最中でした。昼寝などしていません。

〔E〕 昼の暑い最中、みやげ物店で店番をしている若い女性たちは、日陰^{ひかげ}に座っています。

その後、ベトナムが、どれだけ発展したかは、ご存じの通りです。

ベトナムから西へ。カンボジアを通った先は、ラオスです。首都ビエンチャンは、④ 眠ったような街でした。中心部のロータリーを、牛車がゆっくり通ります。

ここでも書店めぐりを思い立ったのですが、書店というものが存在しないではありませんか。教科書だけは、市場のザツカ用品売り場に置いてありましたが、私たちがイメージする書店はないのです。書店はないのかと聞いて回った結果、⑤ 突き止めた一軒の店。そこは、欧米からのバックパッカーたちが、読み終えたペーパーバックを売り払う古書店でした。すっかり古くなったペーパーバックに値段がつけられて並べられていましたが、ラオス語の書籍は見当たりませんでした。当然のことながら、街のどこに行っても、読書する人の姿はありません。

ラオスの独裁政党は、私が見るところ、国民に対して、いわば 愚民政策 をしているように見えます。由らしむべし知らしむべからずという方策をとっているのです。なまじ国民が多様な情報を得ると、政府の方針に反対する動きが出かねない。本を読む習慣が身につかず、古今東西の思想に触れることがなければ、統治は容易になる、というわけです。ラオスが経済発展を遂げているというニユースを、その後も耳にしない理由が、これでわかるような気がします。

かくして、私流の、「これから発展する国の見分け方」をアミ出しました。

中国の北京にも上海にも、書店が増えています。店頭で目につくのは成功への道をトクビジネス書ばかり。いささか辟易しますが、奥に進むと、参考書のコーナーなど若者たちのa であふれています。中国が発展することは、ここからも読み取れます。

かつて一九六〇年代から七〇年代にかけて、日本を訪れた欧米人は、電車の中で熱心に本を読む人の多さに驚いたといひます。「これで日本発展の秘密がわかった」と述懐した人もいます。日本の発展の後を、他国が追いかけているのです。当時の人が、いまの日本の車内を見たら、携帯電話が携帯ゲームを凝視する人たちばかりを発見することでしょうが。

私が本好きであることを知ったテレビのプロデューサーが、私がニユースを解説する特別番組の中で、「池上彰の書店めぐりの方法」というb をつくりました。書店によって異なる本の展示方法を紹介し、最後に、私が子どもの頃に影響を受けた本を紹介しました。

私が記者の仕事をしたと希望するようになったのは、小学校六年生の時に出会った『地方記者、続』（朝日新聞社）という本でした。これを読んで新聞記者に憧れた私は、結局、放送局の記者になり、フリーランスに転じてからは、新聞に連載コラムを書くようになりました。

③ 「人生を決めた一冊の本」というのは、本当に存在したのです。

さらに、本好きな私が、時間を忘れて読みふけり、その後の人生に大きなc を与えてくれた本。そのひとつが、吉野源三郎の『君たちはどう生きるか』でした。

私が、この本を書店の店頭で手に取っているエピソードが流れた直後、アマゾンでの売り上げがベストセラー三位に顔を出しました。

翌日には各書店の店頭で売り切れ続出、となりました。

これを、「テレビの影響力は大きい」と見るか、それとも「人々は、やはり読むべき本を探しているのだ」と受け止めるのか。

本をめぐるd が激変しています。本が売れなくなった。売れるのは一部の本に集中している。ダイエットやお手軽なビジネス書ばかりが売れ、いわゆる良書が売れない。聞こえてくるのは、こんなため息ばかり。

でも、この嘆き方、いまから三十年前にも聞かれたものです。当時は、「良書は売れない」のか、「売れた本が良書」なのか、という議論もありました。本が売れないと嘆く人は、いつの時代にもいたのです。

そんな議論をしているうちに、そもそも本の形をしたもの、ジタイが、売れなくなってきました。

その一方で、電子書籍がe を浴び、各出版社は、電子書籍への取り組みを強化しています。

ところが、これまでのところ、売れている電子書籍は、本の形でもベストセラーになっているものばかりというf が出ています。

デジタル社会ではデジタルならではの売れ筋が出てくると期待していたら、④ そんなことはなかった。やはり人間は変わらないものなのでしょう。

本が大好きだった父は、死の床にあった晩年、『広辞苑』の新版が出たことを知り、私に買って来てくれと頼みました。寝たきりになつてゐるのに、大部な辞書を、開いては、読みふけていました。この読書欲。知識欲。明日世界がなくなるとしても、万巻の書を読みみたいと思つてしまう自分に、かつての父の姿がダブリます。

⑤ 本は不滅なのです。
だからこそ、人々が「読みたい」と熱望する本を企画・制作してほしい。私は晩年、最後の最後まで、そんな本を手にとって読んで いたいと思うのです。

※注 「Kindle」「iPad」とともに携帯型の電子書籍リーダーの名前。

(池澤夏樹編、岩波新書『本は、これから』所収、池上彰「発展する国の見分け方」による)

問一 「A」く「E」は順序がちがっています。正しい順序にならばかえて記号で答えなさい。

問二 ① く ⑤ に入れるのにもっともふさわしい語を次のアくオから選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じものは二度使わないこととします。

ア いまも イ これぞ ウ まるで エ もはや オ ようやく

問三 ※ にあてはめるのにもっともふさわしいものを次のアくオから選び、記号で答えなさい。

ア どんなに小さな書店でも長続きできる国は発展する
イ 本が読みたくて書店で万引きしている国は発展する
ウ 書店が少なくて見つけるのに苦労する国は発展する
エ 書店が多数あり、国民が読書にふける国は発展する
オ ビジネス書ばかりを熱心に読み続ける国は発展する

問四 a く f に入れるのにもっともふさわしい語を次のアくオから選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じものは二度使わないこととします。

ア 影響 イ 環境 ウ 企画 エ 傾向 オ 注目 カ 熱気

問五 線部①「こんな利点」とはどのような利点ですか。もっとも適当なものを次のアくオから選び、記号で答えなさい。

ア 外見が情報端末なので、仕事をしているように見えるという利点。
イ Kindleは情報端末なので、仕事と読書が同時にできるといいう利点。
ウ 派手な表紙の本ではないので、違和感を生みだせるという利点。
エ どんな形でも読書は読書なので、エイゾウや図は必要ないという利点。
オ 仕事に必要な道具なので、乗客が見ても違和感がないという利点。

問六 線部②「書店というものが存在しない」のは、ラオスの政党のどのような考えによるものだと筆者は考えていますか。解答用紙の「くという考え」につながるように、本文中から四十字でさがし、その最初と最後の五文字ずつをぬき出して答えなさい。ただし句読点も一字と数えます。

問七 ———線部③『『人生を決めた一冊の本』』というのは、本当に存在したのです」と筆者が言うのはなぜですか。その理由として、もつともふさわしいものを次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア 中国は、ビジネス書を熱心に読む人が増えることで、ますます発展したから。
 イ かつての日本では、電車の中で熱心に本を読む人たちが人生で成功したから。
 ウ 筆者が影響を受けたものと同じ本を読み、人生に役立てる人が存在するから。
 エ 筆者は、子どもの頃に読んだ本の影響から今の仕事をするようになったから。
 オ たくさんの本を読んでも、人生に影響を受けるような本は一冊しかないから。

問八 ———線部④「そんなこと」は何を指していますか。解答用紙の「くこと」につながるように、本文中からぬき出して答えなさい。

問九 ———線部⑤「本は不滅なのです」とほぼ同じ内容を表す一文を、本文中からぬき出して答えなさい。

問十 ———線部⑥「そんな本」とはどのような本ですか。本文中からぬき出して答えなさい。

問十一 次のア～クの中から本文の内容にあうものを二つ選び、記号で答えなさい。

ア たくさんの本を読みたいのは時代遅れの人だけで、若い人たちはそう思うことがない。
 イ 活字からイメージを想像することで人は成長するので、エイゾウや図はまったく必要ない。
 ウ 欧州では、街の各所に息づいている小さな書店たちが欧州の知性の下支えをしている。
 エ ベトナムの若者も日本の若者も、万引きしてまで読書するくらい知識欲が旺盛である。
 オ 現在の日本を訪れた欧米人は、電車の中で熱心に本を読む人が多いことにとても驚く。
 カ 売れるのは一部の本で、いわゆる良書が売れないと嘆く声は、三十年前にも聞かれた。
 キ 本の形をしたものジタイが売れなくなり、出版社は本を出版せず電子書籍に切り替えた。
 ク 寝たきりになっても本を読みふけていた父と同じことを、筆者は必ずするつもりだ。

問十二 ———線部 a～f のカタカナをそれぞれ正確な漢字に直しなさい。

問十三 ———線部 ア～カ の漢字の読みをそれぞれひらがなで答えなさい。

